

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ



題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 野村 義雄  
幹事 深見 章  
会報委員長 北野 寿三郎

No. 45

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE  
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束—平和に献身

1987~88年度 RI会長 チャールズ.C.ケラー

第289回例会 昭和63年 6月 7日(火) 晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “それでこそロータリー”
- ◇ 出席報告
  - 会員 55名 出席 40名
  - 出席率 72.73%
  - 前回 5月31日 (修正出席率)98.18%
- ◇ ビジター紹介 6名
- ◇ お誕生日祝福
  - 黒須君(6/1)、魚津君(6/11)
- ◇ ニコボックス
  - 太田 茂君 大口先生、大変お世話になっています。ありがとうございます。
  - 水野 賀統君 ホームクラブごぶさたしました。早退させていただきます。
  - 黒須 一夫君、魚津 常義君 誕生日祝い。
- ◇ 深見幹事報告
  1. 次年度クラブ計画書の原稿は、10日が締切になっておりますので、お忘れ無くご提出をお願い致します。
- ◇ 野村会長挨拶
 

5日の日曜日、ナゴヤキャッスルにて、名東ロータリークラブ創立10周年記念の式典が催され、私と深見幹事がお祝いにお出席致しました。バスタガバナーの方々、田中ガバナー水野第2分区代理はじめ市内14の各RC会長、幹事、更に提携先の台湾斗南RCよりの参加者等、総員220名位の誠に盛大な式典でありました。

岡本10周年記念委員長のお話によると、委員会は3年前に発足し目標を定め準備をして来たとの事でありました。

当クラブの10周年の事を考えますと、やはり大変だなと思う次第です。当日の資料は事務局で保管し先々の参考にしたらどうかと考えます。

さて前々回の例会で、加藤前会長が急用にてお帰りになり卓話が半ばでしたが、お話の

要旨がウィークリーに出ていました。その中で立派な若者が漫画ばかり読んでいて嘆いておられますが、私も同感であります。古今の名作であろうと、経済、法律であろうと凡て漫画で理解しようとしている若者に私も憤りを感じています。

然し乍ら漫画が今日、日本の現代文明、文化を代表する一つの顔になった事も事実であります。

漫画が一番もてはやされ人気のある国は確かに日本ですが、米、仏、伊なども盛んです。

只日本の様に1冊300頁もある漫画雑誌が、何種類も出ている国はない。頁数で言えば日本は世界一沢山の漫画を生産しているが、その中には国際的に評価されている「鉄腕アトム」「子連れ狼」などもあるわけです。

漫画大国日本はまたアニメの先進国でもあります。伊で火のついた日本アニメブームは一時欧州各国のテレビに登場し、子供達の人気を独占した時代がありました。「冴なき子」「アルプスの少女ハイジ」「鉄腕アトム」「ウルトラマン」などで、昨年の映画産業全体の輸出額12億8,000万円中7億円がアニメでした。

日本の子供が夢中になるアニメは殆んどがロボットもの、アクションもの、SFものなどだが、こうしたものは欧州では見向きもされない。欧州ではアニメを見るのは幼児です。

日本の様に大学生になっても漫画を見、中学、高校に入ってもテレビのアニメを見ると言う風土ではないので、アクションものに出てくるセックスシーンや暴力シーンは全く受け入れられない。

かくて伊で火のついた日本アニメブームはかげりを見せ、円高の余波もあって売れ行き停滞気味であります。

日本での漫画時代はまだまだ続くでしょう。

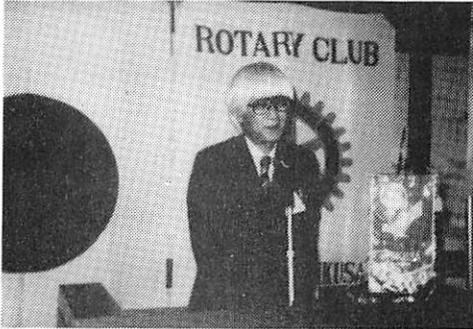
そして漫画を通じてしか物事を理解しない世代が我々の後に続いていることに、恐怖すら覚える次第であります。

◇ 講 演

“最近の健康ブームについて”

愛知学院大学歯学部教授（内科学教室）

二木 厚 氏 （紹介 黒須君）



最近、どういうわけが健康ブームの時代です。健康のためとあれば、どんな醜悪な姿をさらそうと、公序良俗を乱そうと、許される世の中です。お年寄りが隣りでタバコを一服やると、あからさまに顔をしかめる中年のオバハンも、健康のためのアピールだからこそ知的に見えるのです。

健康というものが、それ程大切なものかどうかは別としても、このブームに乗って、マスコミで自信ありげに語られる健康法が、本当に確かな根拠に裏付けられたものかどうか、あやしいものです。

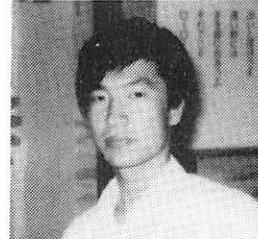
例を糖尿病の食事療法にとりますと（これはこの病気の予防のための食事でもあるとされています。）、昔は尿糖が出ないような食事というわけで、糖質が極端に少ないものが良いと考えられていました。現在は、栄養はむらなく取るべきだが、必要最低限の量におさえるべきだと言われています。しかし、最近、糖尿病でおこる諸悪の根源は、血糖が高いことにある — したがって、血糖を下げるためなら手段を選ばず — という考え方が流行してきましたので、食事療法の方もまた変わるかも知れません。

学問の進歩といえはそうかも知れませんが、おそろしいことは、その時々流行っている療法が、あまり根拠もないまま、狂信的な熱心さで患者さんに押しつけられてきたことです。これは何も糖尿病の分野だけにおこることではありません。ほかの分野でも似たようなことはおこっていますし、嫌煙運動なども、私には、同じ精神的土壌から生まれているように思われます。識者という人種は、大抵目立ちたがり屋ですから、テレビに講演会にと禁煙を説き、自らは自動車の排気ガスを撒き散らしながら活躍してみえるわけです。（誤

解はないと思いますが、別に喫煙をすすめているわけではありません。私も今はタバコを吸っていません。）

現代の医学に100%はありません。したがって、ある面だけ取り上げてのファナティックな主張は、よほど気をつけて受け取めないといけないと思います。

◇ 米山奨学生紹介



一生懸命勉強しますので、どうぞよろしくお願いします。

姓 名 李 忠 孝  
イ チュンヒョウ  
生年月日 1960年4月2日  
国 籍 韓 国  
在籍大学 名古屋大学大学院修士課程  
工学部工学研究科  
結晶材料工学専攻  
将学期間 1988年4月～1990年3月

◇ 5月度理事役員会議

1. 新入会員候補者の件
2. 財団・米山の件
3. 財団奨学生選考試験 6/21(木)PM2:00～
4. ビジターフィー変更 7/5(木)より3,000円

◇ 例会変更のお知らせ

名古屋和合R C 6/15(木)F.S.M.の為、井清寿にてPM5:30より  
名古屋東南R C 6/16(木)F.S.M.の為、松楓閣にてPM6:00より  
名古屋瑞穂R C 6/23(木)夜間例会(下期反省会)の為、かすが荘にてPM6:00より  
名古屋中R C 6/27(月)第4回F.S.M.の為、PM6:00より  
名古屋空港R C 6/27(月)F.S.M.の為、PM6:00より

◇ 次回例会(6月14日)

講演 “暴力団(一刀一家) VS 住民の熱い戦いの記録”  
田中水野合同法律事務所  
田中 清隆 氏 (紹介 久保田君)

◇ 次々回例会(6月21日)

講演 “今の世相と青少年問題”  
日本ボーイスカウト連盟副議長  
後藤 顕義 氏 (紹介 小坂井君)